

植物多様性センターの「ホオズキの仲間？」

ナス科のホオズキは、盆飾りでおなじみの植物です。じつは、都内でも丘陵地や山地まで足を伸ばせば、野生種のホオズキの仲間に出会えます。学習園の奥多摩ゾーン湿性林エリアの案内板の近くに、タネから育てた野生種のホオズキ3種を植栽しましたので、園内自生のイヌホオズキと合わせてご紹介します。4種は同じホオズキの名がついても、それぞれ別属です。花と果実の両方をじっくり観察してみてくださいね。



イヌホオズキ: ナス属。畑や道端に普通。球形の果実をつける



ヤマホオズキ: ホオズキ属の野生種。小型のホオズキそのもの



イガホオズキ: イガホオズキ属。トゲトゲのガクが名前の由来



ハダカホオズキ: ハダカホオズキ属。果実はガクに包まれない